

II 特別シリーズ II

科学技術  
振興機構

『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第174回

福岡アジア都市研究所の活動報告



唐 寅  
(福岡アジア都市  
研究所主任研究員)

中国江西省から高校生招へい  
留学生OBの活躍ぶりを見聞

①プログラムの趣旨

2018年11月、当研究所がさくらサイエンス事業により、中国江西省井冈山地区の高校生一行16名(含む引率者)を1週間にわたって福岡市に招へいし、九州北部に立地する大学における教育研究の取り組みや留学生受け入れの実態について研修を行った。

中国内陸部にある井冈山地区は中国革命の聖地ではあるが、高度経済成長に取り残されている地域でもある。今回の招へいは、海外経験の少ない現地の優秀な高校生に、日本の大学の進んだ研究や教育を学んでもらうと同時に、中国人留学生OBたちの活躍ぶりを直に見聞きすることを通じて、日本への理解を深め、日本留学へのモチベーション向上につなげることを目指すものであった。

在福岡中国総領事館の紹介により、長年現地で技術支援活動を行っている中国科技部農村科技司にコデーネットを依頼し、江西省



九州大学水素ステーション

内の有名進学校である①贛県中学校②井冈山中学③永新県任弼時中学の3校から優秀な高校生を選抜して福岡に派遣してもらった。

②プログラムの成果  
研修プログラムについて、我々が全員に配る小冊子にそのスケジュールと訪問先の概要を日中二か国語で詳細に紹介し、参加者へのオリエンテーションに注力した。また、振り返り重視の観点から、終了後に各参加者にレポートを書かせ、毎日見たこと、学んだことから次の日本への留学や、将来中国や世界での貢献活動への応用なども一緒に考えてもらった。

プログラム	
1日目	入国
2日目	オリエンテーション・福岡市副市長表敬訪問 九州大学水素エネルギー国際研究センター訪問・受講
3日目	九州大学留学生センター訪問・受講 福岡中国総領事館表敬訪問
4日目	福岡工業大学半導体技術研究所・先端測量研究センター訪問・受講 福岡工業大学付属城東高校訪問・生徒との交流
5日目	久留米大学学長表敬訪問、がん治療研究センター訪問・受講 九州国立博物館見学
6日目	北九州市エコタウンセンター訪問 西日本工業大学デザイン学部訪問・受講
7日目	福岡市総合図書館見学 福岡市内見学
8日目	帰国

九州大学水素エネルギー国際研究センターでは、「水素エネルギー研究の現状と展望」の講義があり、水素自動車展示室と貯蔵タンクの見学も実施した。EV車が勢いを増すなか、水素エネルギーを利用した新しい研究開発を、参加者が身近に体験することができた。福岡工業大学では、参加者が半導体技術研究所・先端測量研究センターを訪問し、ナノ技術研究の現状と3D画像形成及び用途について詳しく講義を受けた。大学内の充実した先端研究実験設備と一般の学生もそれら自由利用できるシステムは、参加者にとって非常に魅力的に映ったようであった。

久留米大学では、参加者が先端癌治療研究センター所長から「がん治療研究最前線」の講義を受け、いま注目されている癌の免疫治療について学ぶことができた。また、大学病



福工大付属高校での交流



福岡工業大学



西日本工業大学



久留米大学ドクターヘリ

西日本工業大学の留学生は、日本の大学に進んだ教育研究の現場を視察したり、留学生受け入れのサポート態勢を体験したりすることが可能である。このような強みをいかして、アジアの優秀な若者を日本の大学に目を向けさせ、理工系留学生の誘致拡大に貢献する努力をこれからも続けていきたい。

久留米大学ドクターヘリは、福岡市の研究拠点を、福岡市の支援を受けて地元大学とさまざまなネットワークを形成している。海外参加者が短期間に効率よく九州の大学や先端研究室を訪問し、日本の大学の進んだ教育研究の現場を視察したり、留学生受け入れのサポート態勢を体験したりすることが可能である。このような強みをいかして、アジアの優秀な若者を日本の大学に目を向けさせ、理工系留学生の誘致拡大に貢献する努力をこれからも続けていきたい。

院の高度救命救急センターでドクターヘリを観覧し、日本の先端医療に直に触れることもできた。国民皆保険で必要な治療を必要時に速やかに安心して受けられる日本の医療福祉の現状が、参加者の皆さんに強いインパクトを与えたようで、後日提出されたレポートでは多くの参加者がこの点を取り上げていた。西日本工業大学では、参加者がデザイン学部に関する講義を受けてから、附設工房で3Dプリンターを使った人気キャラクターづくりを体験した。日本の漫画アニメに慣れ親しんでいる中国の高校生たちは生活の中におけるデザインの面白さを体感し、完成した作品を大事そうに持ち帰った。

味関心ある話題について英語で語り合った。漫画アニメだけでなく、中には数学の解き方について熱心に解説する生徒の姿もあった。中国人高校生の豊かな個性と学力の高さ、日本人高校生の豊かな個性と豊富な学習プログラム、お互いにとつていい刺激になる一時であった。帰り際に担任の先生から、「来年もぜひわが校に来てください」と要望されるほど有意義な訪問であった。

### ③ 今後の展望

福岡には数多くの大学が立地し、新エネルギーや電子及び先端医療等の分野において注目すべき研究成果を上げてきた。また、福岡では長年にわたり中国をはじめアジアから多くの留学生を受け入れてきており、そのOBやOGが現在各々の研究開発領域で活躍している。

さくらサイエンス事業による福岡研修への参加を通して、意欲的な高校生たちが自らの人生設計にいつそう希望を持てるようになってきた。参加者が中国のSNSであるWeChatなどで発表した感想文や報告書にその思いをつづっているが、アンケートでも全員が研究者として日本へ留学に来たいと回答している。